

57号
2015
WINTER



◎松本零士／郡山市



スペースパークギャラリー
第15回コンピュータグラフィックス展
平成27年「宇宙の日」記念 全国小・中学生作文絵画コンテスト



星空ガイドス ～星空と宇宙を楽しむ～ 冬版
 「オリオン座を見よう!!」

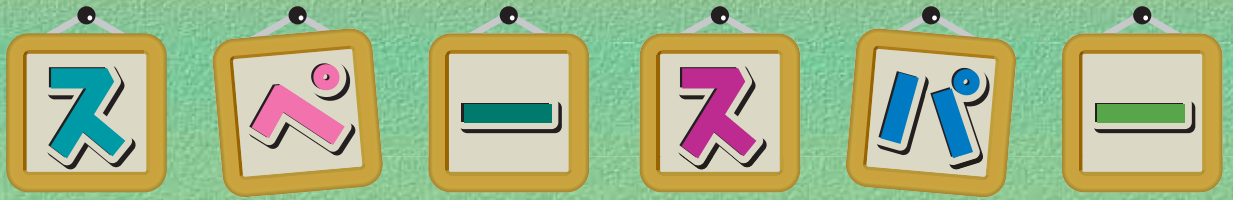


天文現象カレンダー(1~3月)



スペースパークイベントレポート





第15回

コンピュータ グラフィックス展

第15回コンピュータグラフィックス展 受賞作品決定!

CGを「作る楽しさ」「見る楽しさ」に触れていただくことを目的として開催しているコンピュータグラフィックス展も、今年で15回目となりました。「宇宙で夏休み」が今回の作品テーマです。236点の応募作品の中から、審査を行って、受賞作品が決定しました!

※静止画部門【大賞】館長賞は表紙をご覧ください。

静止画 部門

【準賞】
スペースパーク賞



「赤い糸で結ばれた、宇宙と地球と人」
鈴木 愛菜 さん
(郡山市立富田東小学校5年生)

【準賞】
スペースパーク賞



「「おかえりなさい」を聞くために」
岡崎 辰哉 さん
(国際アート&デザイン専門学校2年生)

小学生
以下の部



優秀賞
「宇宙でスイカ」
倉松 健 さん
(高知市立横内小学校6年生)



優秀賞
「うちゅうの銀河列車」
白石 七瀬 さん
(郡山市立富田東小学校6年生)



優秀賞
「うちゅうのスイカ」
中島 空良 さん
(高知市立横内小学校5年生)

中学生
の部



優秀賞
「宇宙でのんびり休暇」
横田 歩大 さん
(郡山市立郡山第三中学校3年生)



優秀賞
「宇宙のどこかで夏祭り」
國分 瑚楠 さん
(郡山市立郡山第二中学校2年生)



優秀賞
「天の川を飛ぶ宇宙虫」
橋本 健太 さん
(郡山市立郡山第二中学校3年生)

一般(高校生
以上の部)



優秀賞
「第二の惑星」
佐藤 祐希 さん
(国際アート&デザイン専門学校2年生)



優秀賞
「とびこめ!」
阿部 紗弥加 さん
(国際アート&デザイン専門学校2年生)



優秀賞
「宇宙の中の海」
川保 海渡 さん
(福島県立清陵情報高等学校3年生)

動画 部門

大賞 館長賞

「僕の夏休みの思い出」
岡崎 辰哉 さん
(国際アート&デザイン専門学校2年生)

準賞 スペースパーク賞

「世界が私に似てたから」井上 ゆう さん
(郡山市立郡山第三中学校2年生)
「少年と不思議な夏の思い出」遠藤 明子 さん
(国際アート&デザイン専門学校1年生)

学校賞

- ▶ 郡山市立行健第二小学校 (応募数50点)
- ▶ 郡山市立郡山第二中学校 (応募数18点)
- ▶ 福島県立清陵情報高等学校 (応募数9点)

審査員講評

〈内田 章 審査員〉

ソフトウェアの進歩に伴い、作品の仕上がりはとても美しいものばかりでしたが、今年は、一枚の作品の中に、ストーリーを感じさせる作品が多かったと思います。応募者の感性が発揮された作品が入賞しましたが、正直、ここまで審査に苦労したことはありませんでした。今後の活躍を願わずにはいられません。

次回の作品募集は平成28年6月ごろの予定です。キミもCGに挑戦してみよう!



平成27年「宇宙の日」記念
全国小・中学生
作文絵画コンテスト

まもる
毛利衛宇宙飛行士がスペースシャトル「エンデバー号」で初めて宇宙に飛び立った日を記念し、毎年9月12日は「宇宙の日」となっています。

郡山市ふれあい科学館でも、「宇宙の日」事務局が主催している「宇宙の日」記念全国小・中学生作文絵画コンテストに参加し、子どもたちから絵画を募集したところ、111点（小学生部門89点、中学生部門22点）の作品をご応募いただきました。たくさんのご応募、本当にありがとうございました。

小学生
部門



優秀賞 熊田 花奈海さん
(郡山市立緑ヶ丘第一小学校5年生)



優秀賞 樋口 美岬さん
(郡山市立薫小学校2年生)



最優秀賞 鈴木 結衣さん
(いわき市立泉北小学校4年生)



佳作 遠藤 嵩斗さん
(郡山市立緑ヶ丘第一小学校6年生)



佳作 七海 陽斗さん
(郡山市立行徳小学校5年生)



佳作 橋本 朋佳さん
(郡山市立緑ヶ丘第一小学校4年生)

中学生
部門



優秀賞 折笠 郁佳さん
(郡山市立小原田中学校2年生)



優秀賞 七海 未音さん
(郡山市立小原田中学校3年生)



最優秀賞 堀内 恵さん
(郡山市立小原田中学校1年生)



佳作 久壽米木 明穂さん
(郡山市立小原田中学校3年生)



佳作 小林 賢幸さん
(郡山市立大槻中学校1年生)



佳作 吉田 咲希さん
(郡山市立小原田中学校3年生)

★ 星空ガイドンス ★

～星空と宇宙を楽しむ～

ふゆ ばん 冬版

オリオン座も見よう！

冬の夜空には明るく目につきやすい星座がたくさんあります。その中で特に目立つのは、何といてもオリオン座です。今回は初めて星を見る方にもおすすめの、オリオン座の特徴や魅力をご紹介します。

●オリオン座を見つけよう！

オリオン座は1等星を2つ、2等星を5つも持つ、たいへん明るい星座です。星の並びも特徴的で、街灯りがあっても簡単に見つけられます。真っ赤な1等星の「ベテルギウス」に、白い「リゲル」や、3つの2等星が並ぶ「三ツ星」が目印です。「三ツ星」と周りにある4つの星を結ぶと砂時計のように見えますが、日本では「つづみ」という楽器に例えて「つづみ星」と呼んでいました。

また、明るい1等星は星の色がよくわかります。「ベテルギウス」は平家星、「リゲル」は源氏星というように、星の色からつけられた呼び名もありました。皆さんもオリオン座を見つけたら、星の色の違いに注目してみてください。

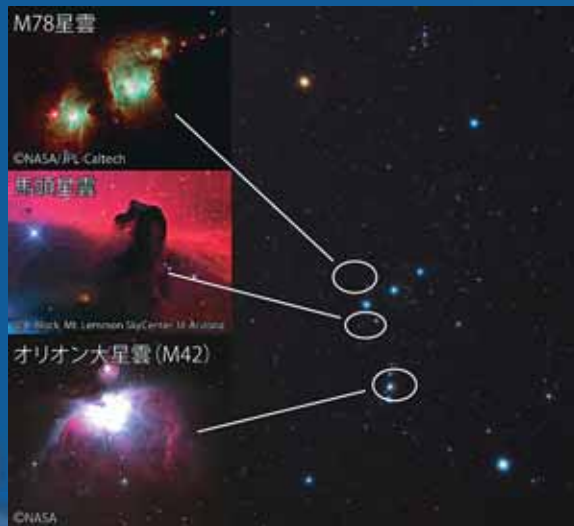


オリオン座と冬の星たち。科学館スタッフ撮影

●オリオン座には おもしろい天体がたくさん！

明るい星が多いオリオン座ですが、星雲をたくさん持つことでも有名です。写真を見ると、星の他にぼうっと

したものが写っているのがわかります。肉眼では詳しい様子は見えませんが、望遠鏡を使ったり、写真をとったりすると星雲の様子がよく見えてきます。次はオリオン座にある星雲をご紹介します。



1. オリオン大星雲

空のきれいなところでは、「三ツ星」の下にぼうっと光るものが見えます。これがオリオン大星雲です。分子雲と呼ばれるガスの集まりで、星雲の中では200万歳ほどの生まれたての星が輝き始めています。明るい星が縦に3つほど並んで見えるので、「小三ツ星」と呼ばれることもあります。

2. 馬頭星雲

暗黒星雲と呼ばれる星雲で、後ろの散光星雲から浮かび上がって見えます。一番の特徴は、馬の頭のような形です。星雲の大きさは数光年（1光年は約10兆キロメートル）ほどあり、ガスの中では新しい星が作られています。

3. M78星雲

三ツ星のすぐ上にある星雲で、近くの星の光を反射して輝く反射星雲です。また、ウルトラマンたちの故郷「ウルトラの星」のモデルとしても有名です。双眼鏡で見える天体なので、星座探しに慣れてきたらこの星雲を見つけられるか試してみてください。

●オリオン座の物語

星座には神話がつきものです。オリオンはギリシャ神話に登場する狩人ですが、神話を読んでも、少しかわいそうな目に会っているようです。

1. オリオンはサソリが嫌い？

オリオンはたいへん腕のよい狩人でしたが、らんぼうものでもあったようです。自分の狩りの腕にうぬぼれて、「自分ならこの世界の動物たちを全て捕まえられる」と言ったことが大地の女神ガイアを怒らせてしまいます。ガイアはオリオンをこらしめるために毒針を持ったサソリをさしむけました。狩りに夢中になっていて小さなサソリに気付かなかったオリオンは、サソリの毒針に足をさされてあっという間に倒されてしまいました。

その後、オリオンは星座となりましたが、同じく星座になったさそりを怖がっているようです。春の宵にさそり座が東の空から昇ってくると、オリオン座は急いで西の空へ沈んでしまいます。



2. 恋人と1か月に一度のデート

オリオンは月と狩りの女神アルテミスと恋人だったとも言われています。オリオンが死んでしまったことにアルテミスは大変おどろき、月の馬車で夜空を走る仕事を忘れてしまうほど悲しみました。これをかわいそうに思った大神ゼウスはオリオンを星座にし、アルテミスの馬車の通り道に置きました。一か月に一度、必ずオリオンのもとを訪れることができるようになったため、アルテミスは再び仕事をするようになったと言われています。

これは月がオリオン座の近くを通ることから作られた神話です。昔の人はよく星を観察して物語を考えたのです。オリオン座の他にも天体の動きに関係した神話がありますので、興味を持った方は神話の本を読んでみてください。

星を見る、ということは特別なことではありません。まずは自宅からでも簡単に見つけられる、明るい冬の星たちから見上げてみてください。



★天文現象カレンダー（1月～3月）★

1月

4日

りゅう座流星群が極大

かつての星座の名前から「しぶんぎ座流星群」とも呼ばれる流星群です。初詣の後は流れ星をお願いをかけてみてください。

9日

金星と土星の大接近

明け方の東の空で、金星と土星がくっつきあうように輝きます。数日観察していると、少しずつ2つの星の並びが変わって、惑星が星座（恒星）の間を動いていることがわかります。

2月

4日

立春

春の始まりとされる日で、昔は一年の境目とされていました。この頃から寒さも緩み始め、気温の上がる日が少しずつ増えていきます。

29日

うるう日

2016年はうるう年です。暦が季節からずれないように、四年に一度、一年の日数を366日にします。

3月

9日

部分日食

日本からは太陽の下側が少し欠けるように見えます。日食開始は10時ごろで、終了は12時ごろです。太陽を直接見ることは大変危険ですので、日食グラスなどを使って安全に観察しましょう。

21日

春分の日

太陽が真東から昇り、真西に沈む日です。この頃から昼の時間が夜よりも長くなり、気温も上がって過ごしやすい季節になっていきます。

スペースパーク イベントレポート



平成27年9月23日(水・祝)～26日(土)

第6回 国際科学映像祭 ドームフェスタ

科学館では、第6回国際科学映像祭ドームフェスタを開催いたしました。

これは日本をはじめ世界各国から集められた最新の科学映像を一挙に上映するもので、国内をはじめ海外から多数のゲストが参加しました。

初日のオープニングセレモニーでは鳳宏道実行委員長や品川萬里郡山市長からの挨拶の後、国際光年特別セッションと続き、最新の映像作品を短くまとめた紹介版の上映が行われました。初日の特別講演は、ヨーロッパ南天天文台（ESO）のLars Lindberg Christensenさんが、新たにESOで建設を進めているプラネタリウムなどの施設「Super Nova」を紹介し、ESOが制作したドーム映像2本の上映も行われました。

2日目以降も多数の作品上映が続き、その上映の合間にニューヨーク市アメリカ自然史博物館 ヘイデンプラネタリウムのCarter Emmartさんによる特別講演が行われました。

最終日のフィナーレセレモニーでは、ドイツのフルドームフェスティバルで受賞した日本人制作のドーム映像作品の招待上映が、また、閉会行事として今回のドームフェスタ人気投票1位の作品の表彰と上映が行われ、最後に当公社宗形光章代表理事から御礼とメッセージを述べ閉会となりました。

今回は海外からの参加者を含め、全国から100名以上の方にお越しいただいたほか、多くの市民の皆さまにもご参加いただきました。参加いただいた方々は、ドームスクリーンに広がる最新の科学映像と、国際色豊かな講演をお楽しみいただきました。

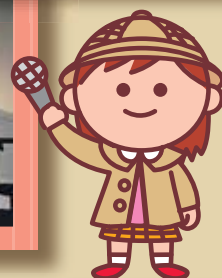
オープニングセレモニー



国際光年特別セッション



特別講演



福島高等学校
スーパーサイエンス部！



郡山北工業高等学校
自然科学部！！



平成27年9月19日(土)～23日(水・祝)

秋のサイエンスフェスティバル

科学館では秋のシルバーウィーク期間中に、特別企画として科学のお祭り「秋のサイエンスフェスティバル」を開催しました。

今回も多数の高校生や団体の方々に実験・工作コーナーへ参加していただきました。

福島高等学校スーパーサイエンス部の光るスライムや安積黎明高等学校化学部のはずむシャボン玉、郡山北工業高等学校自然科学部のカラフルいくら、日本大学東北高等学校理科部の水中シャボン玉など、様々な科学現象を取り入れた実験・工作が多

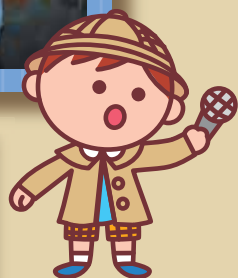
科学のクイズ大会!!



公演中の高橋先生



どんな質問かな!



数披露されました。他にも郡山萌世高等学校理科部のぶっとびロケットなど定番の科学工作、変わった内容では、実験をしながら五感の不思議を体験する帝京安積高等学校理科学研究部の「だまされるな!!」、福島大学spffの赤外線を使った不思議な写真、新福島芸能倶楽部の風船を使った工作など、お客様に大変好評でした。

そして今回の一番の目玉は「科学のクイズ大会」で、小学生を対象に〇×形式のクイズ大会を行いました。出場者は真剣に問題に取り組み、大いに盛り上がりました。大会終了後は、参加者の皆さんには全員に参加賞を、さらに、多くの問題に正解した上位の方には、特別賞として宇宙食をプレゼントしました。参加していただいた皆様、ありがとうございました。

平成27年10月3日(土)

星の講演会「アインシュタインの宇宙 ～相対性理論で知る不思議な世界～」

科学館では、星の講演会に、ブラックホールを専門に研究されている愛知教育大学の高橋真聡先生にお越しいただき、「アインシュタインの宇宙～相対性理論で知る不思議な世界～」という演題で、相対性理論とはどのようなものなのか、お話しいただきました。

今回はアインシュタインが一般相対性理論を発表してからちょうど100年ということもあり、多くの参加者がありました。

講演は、アインシュタインの生い立ちから始まり、相対性理論の誤解や、身近なもので相対性理論が応用されているものということで「GPS」や「カーナビ」などを例にあげながら、さまざまな視点から、興味深い話をしていただきました。

講演会後の質問コーナーでは、大人から子供までの、多くの方から質問が寄せられ、先生はどの質問にもていねいに答えられました。

高橋先生、有意義な講演どうもありがとうございました。

平成27年10月10日(土)～12日(月・祝)

鉄道の日「鉄道フェスティバル」

科学館では、鉄道が新橋から横浜まで開通した10月14日の「鉄道の日」を記念し、日本貨物鉄道株式会社東北支社、公益社団法人鉄道貨物協会東北支部福島県部会との共催、東日本旅客鉄道株式会社郡山駅の後援で鉄道フェスティバルを開催いたしました。

大人の鉄道ファンも楽しめる鉄道資料展示コーナーをはじめ、マニアが集うNゲージ鉄道模型の操作体験、手回し動力で動くトロッコ「てトロ」など、定番のコーナーは盛況でした。

さらにプラレールコーナーは小さなお子様に非常に好評で、みなさん楽しそうにレールを組んで遊んでいました。

今年の注目のひとつは、ミニチュアのリニアモーターカーで、磁力で浮上して、猛スピードで走り回るように、みな驚きの声を上げて見ていました。

また入口では、当館のスペースパークボランティアの会(S.P.V)の皆さんが、入場記念切符にはさみを入れたり、貴重な鉄道資料の解説や工作コーナーなどで活躍していただきました。

フェスティバルに関わった皆さまに心から感謝いたします。ありがとうございました。

鉄道資料展示



Nゲージ鉄道模型の操作体験



大盛況プラレールコーナー



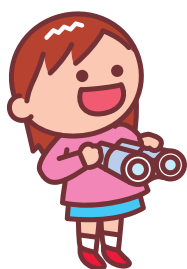
スペースパークインフォメーション案内&募集

特別行事のご案内

科学ゼミナール 「実験しよう！火山のヒ・ミ・ツ」

最近日本各地でニュースになっている「火山ふんか」。「火山」とは一体どんなものなのでしょう？実験でさぐってみましょう！

日時：1月17日(日) 14:00～16:00
場所：多目的研修室（20階）
講師：佐藤 公さん（磐梯山噴火記念館副館長）
対象：小学4年生～中学生（保護者同伴可）
定員：先着30名（参加無料）
申込：12月19日(土) 10時より
電話または22階インフォメーションにて受付
※休館日を除く。



第29回星の講演会 「第2の地球探し」ー地球外生命をもとめてー

1995年に初めて太陽系外惑星が発見されてから現在まで1800個を超える系外惑星が見つかり、その中には地球によく似た惑星もあると言われていています。この宇宙には地球以外に生命を育む星はあるのでしょうか。第2の地球探しの取り組みをわかりやすく紹介していただきます。



日時：2月27日(土)16:00～17:15
場所：宇宙劇場（23階）
定員：先着220名（観覧無料）
講師：田村元秀さん（東京大学教授）
申込：1月30日(土) 10時より
電話または22階インフォメーションにて受付
※休館日を除く。
※1回の申込は10名までとさせていただきます。
※当日の宇宙劇場第4～5回目番組は休止となります。

ご利用案内

宇宙劇場番組開始時刻

	平日	土・日・祝日
第1回目	10:15	11:00
第2回目	11:30	12:30
第3回目	14:00	14:00
第4回目	15:30	15:30
第5回目	19:00 ※金曜日のみ	17:00

※12/5～1/11はスケジュールが変更となります。
詳しくは当館ウェブサイトをご覧ください。

利用料金

	宇宙劇場	展示ゾーン	ワンヤープラスポート
一般	400円	400円	4,000円
高校生・大学生等	300円	300円	3,000円
小中学生	200円	200円	2,000円
幼児・65歳以上	100円※	無料	—

※幼児が席を使用しない場合は無料となります。

お申し込み日から一年間有効

有料入館者
20名様以上
20%OFF

郡山市の位置



交通機関



開館時間

宇宙劇場

平日/10:00～16:15（入場は15:30まで）
金曜日/10:00～19:45（入場は19:00まで）
土・日・祝日/10:00～17:45（入場は17:00まで）

展示ゾーン

10:00～17:45（入館は17:00まで）

休館日

（展示ゾーン・宇宙劇場）
毎週月曜日（その日が祝日の場合は、その翌日）
12/31・1/1 1/18～22（全館休館）

展望ロビー

10:00～20:00（無料）

ACCESS MAP



スペースパーク | 検索

ウェブサイト検索もカンタン！



紙ヘリサイクル可

この印刷物は、環境にやさしいFSC® 認証紙と植物油インキを使用しています。



FSC

www.fsc.org

ミックス

責任ある木質資源を使用した紙

FSC® C022987

郡山市ふれあい科学館
（公益財団法人 郡山市文化・学び振興公社）

スペースパーク

〒963-8002 福島県郡山市駅前二丁目11-1 ビッグアイ20～24F

TEL.024-936-0201 FAX.024-936-0089

メールアドレス info@space-park.jp ウェブサイト http://www.space-park.jp

フェイスブック ウェブサイトトップページよりリンク有り

